

LESSON 32

内科病棟の2年目看護師（佐藤氏）から看護部長（山田氏）へ宛てられた、夜勤業務に関する改善要望のまとめです。現状のままでは心身の限界が近いとして、主に以下の4つの課題について改善を求めています。

1. 申し送り業務の効率化 夜勤開始時の申し送りに毎回1時間近く（長い時は1時間15分）かかっています。記録の読み上げと口頭での説明が重複していることが原因の一つと考えられており、根本的な見直しによる時間短縮を求めています。
2. カルテと紙記録の二重入力解消 紙の記録と電子カルテの両方に同じ内容を入力する二重作業が続いており、夜間に30分以上の時間を奪われています。これにより患者への観察時間が削られてしまっているため、システム面の解決を要望しています。
3. 薬剤管理（与薬準備）のチェック体制の見直し 夜間の与薬準備における確認方法がスタッフ間で統一されておらず（声出し確認、黙視、チェックリスト使用など）、ばらつきが生じています。詳しい人に現状を評価してもらい、統一すべきかどうかの判断を求めています。
4. 夜間呼び出し対応の優先順位ルールの明文化 2人夜勤体制で急変とナースコールが重なると対応が追いつかず、各自の判断に委ねられている現状に不安を感じています。人員の増員は求めないものの、対応の優先順位を明確なルールとして明文化することを提案しています。

改善による期待効果 これらの課題が解決されることで、現在常態化している夜勤明けの2〜3時間の残業を減らし、スタッフの負担軽減と患者へのケアの質向上につながりたいと述べられています。
